



登米高通信

宮城県登米高等学校 《基本方針》

- ◇ 確かな**学力**を身に付け、生徒の志望を**達成**させる
- ◇ 社会人として**自立**できる**人間**づくり
- ◇ 生徒 保護者 地域から**信頼**され、**選ばれる**学校づくり



2020年 創立100周年

TOME HIGH SCHOOL

《目指す生徒像》=将来にわたって活躍できる**土台**を備え、**地域**を支える人材の**育成**

校訓

誠実 勤勉 進取

《平成31年1月号》

1月15日発行

PTAとの協同で 盛り上がった体育祭!



平成30年10月6日恒例の体育祭が開催されました。昨年チーム縦割りとなり、校訓である「**誠実**」チーム、「**勤勉**」チーム、「**進取**」チームの3チームを編成、午前は玉入れ・長縄跳び、百足競争、綱取り、障害物リレー、綱引きと

いった競技で熱い戦いを行い、午後には各チーム30名によるオールメンバーリレー、最後はベストメンバーリレーと、チームカラーの鉢巻をしめ、学年を超えた連帯感で勝負に挑みました。今年の体育祭のもう一つの目玉は、PTAの協力による豚汁の提供でした。役員



の皆様の発案で前日から準備を行い、大鍋3つ分約400食の豚汁が休憩時に振舞われました。温かい豚汁をいただき、自然と笑顔が生まれホッとすると時を過ごすことができました。「ありがとうございました」との感謝の言葉が出てきました。PTA 役員の方には朝から挨拶運動や体育祭の応援観戦もしていただき、ありがとうございました。

伝統の登米能鑑賞

平成30年10月25日本校同窓会とPTA共催による「文化講演会」を開催しました。昨年は台風で中止となった登米能鑑賞を、登米謡曲会の協力により開催しました。会場となった「森舞台」の幻想的な雰囲気の中で、宮城県無形民俗文化財である登米能「春日龍神」を鑑賞。芸術の秋のふさわしい、秋晴れの1日となりました。



登米高生、登米市長と対談

平成30年10月31日、熊谷盛廣登米市長が本校に来校し「登米市の未来を語る」を開催。本校生徒会のメンバーと公務員志望の3年生が参加し約1時間半にわたり座談会が行われました。熊谷市長の、「登米市が今後魅力的な市になっていくための率直な考えを聞かせてほしい」という質問から始まり、最後は「ぜひ将来は地元で活躍してくれる人材になってほしい」との期待を込めた言葉で締めくくられました。生徒にとっても、直接市長に自分の意見を伝える貴重な機会となりました。



防災講話 鈴木洋子先生



平成30年11月1日、防災講話が体育館で行われました。講師は、本校同窓生で、東日本大震災時に石巻市立門脇小学校校長であった鈴木洋子先生をお招きして、震災当時の学校の様子や今後の備えや心構えについて、スライドをまじえながら貴重なお話をさせていただきました。鈴木先生は現在石巻専修大学で教えながら精力的に講演活動も行っておられます。最後に、防災委員会委員長の3年熊谷真真君が鈴木先生にお礼の言葉を述べました。

スライドをまじえながら貴重なお話をさせていただきました。鈴木先生は現在石巻専修大学で教えながら精力的に講演活動も行っておられます。最後に、防災委員会委員長の3年熊谷真真君が鈴木先生にお礼の言葉を述べました。



「税に関する高校生の作文」表彰

国税庁主催「税に関する高校生の作文」で、1年生伊藤皿さんが「佐沼



税務署長賞」、千葉凌馬君が「税務団体協議会長賞」を受賞し表彰式が行われました。授業を通じて税金の意味を認識し、高校生の視点から、税の意義を訴えた内容が高く評価され、河北新報みやぎにも掲載されました

思い出の関西修学旅行へ



12月3日から3泊4日、2学年は関西修学旅行へ仙台空港から出発。京都、奈良、大阪の行程でした。初日は京都清水寺と金閣寺へ。2日目は、班別自主研修で市内古寺巡りにグルメで古都の雰囲気を感じました。3日目は、奈良東大寺から大阪。最大のお楽しみのUSJ。

最終日は、大阪城から道頓堀を訪れ、伊丹空港から空路帰着しました。今年の関西は各地12月観測史上最高気温を記録する季節外れの陽気で、日中は20℃を超える暑さでの思い出作りになりました。



新生徒会役員始動

9月27日、新生徒会役員を決める立会演説会が行われ、現副会長の2年佐藤大陸君が会長候補、1年及川純武君が副会長候補に立候補しました。投票は登米市選管から借用した投票台で実施。全生徒の信任を得て、生徒会執行部のメンバーが決まり、新体制でスタートを切りました。

生徒会長 2年 佐藤 大陸

新生徒会長として、私は先輩方が築いてきた伝統ある挨拶運動をより活発な活動にしていきたいです。また、球技大会、文化祭、体育祭の三大行事を創立100周年に向けて、これまでに以上に盛り上げていけるよう生徒会執行部のメンバーとともに、引っ張っていききたいと思います。生徒全員の意見を積極的に取り入れ、楽しくてよりよい登米高校にしていきたいです。初めは慣れないことも多く、戸惑うこともあるかもしれませんが、一致団結して乗り越えていきますのでよろしくをお願いします。

生徒会副会長 1年 及川 純武

このたび、生徒会副会長に承認いただきました1年3組の及川純武です。嬉しさとともに期待に応えなければという大きな責任を痛感しています。まずは他の生徒会の方々とともに現在の登米高校の課題をしっかりと把握することから始めたいと思います。そしてできるだけ皆さんの意見を取り入れながら、学校行事を中心に生徒会活動をさらに活発化させるよう努力します。未熟な部分はありますが、選ばれた以上精一杯頑張っていきますので、皆さんよろしくをお願いします。

県読書感想文コンクールで入選

校内コンクールで優良賞の1年伊藤秀君(登米中出身)の読書感想文作品『太宰治「人間失格」を読んで』が、宮城県読書感想文コンクール審査の結果、見事「部会長賞」を受賞しました。この感想文は、平成30年度『入選作品集』に掲載されることとなります。受賞おめでとうございます！

1学年インターンシップ!

登米市内で就業体験

1学年は総合学習のまとめとして、地域における実際の社会活動と結び付けながら、自ら知識と技術を習得する目的で、12月4日~6日の3日間、登米市内でインターンシップを実施し、貴重な体験をしました。市内ホテルや印刷所、保育所や消防署、小学校など、自分の進路希望に沿った形での就業体



験を実施しました。3日間の社会体験を通じて、働くことの意義や喜び、自ら学ぶ意欲を育成することも大きな目標の1つです。99名の生徒は、市内約30箇所の事業所に分かれ、実際業務に携わる貴重な体験をしました。ご協力ありがとうございました。



験を実施しました。3日間の社会体験を通じて、働くことの意義や喜び、自ら学ぶ意欲を育成することも大きな目標の1つです。99名の生徒は、市内約30箇所の事業所に分かれ、実際業務に携わる貴重な体験をしました。ご協力ありがとうございました。

を通じて、働くことの意義や喜び、自ら学ぶ意欲を育成することも大きな目標の1つです。99名の生徒は、市内約30箇所の事業所に分かれ、実際業務に携わる貴重な体験をしました。ご協力ありがとうございました。

吹奏楽部 登米村田製作所でボランティア演奏



吹奏楽部は11月11日、「(株)登米村田製作所社員感謝祭イベント」に招かれステージ演奏を披露しました。吹奏楽部は、先の全日本吹奏楽コンクール地区予選を通過し、見事県大会出場を果たしています。日頃の練習成果を存分に発揮した好

演奏に、大勢の皆さんから拍手をいただくことができました。

カップマラソンにボランティア隊

平成30年11月4日、登米市カップマラソンのボランティアに、バスケットボール部や陸上部、情報文化部などから有志総勢30名が参加しました。前日テント会場設営や看板設置などに協力。当日も、実行委員の皆さんと、走路員や選手への給水や配食、キッズコーナー運営など様々な分野で活躍しました!

